

科目番号	HB205				
科目名	造園学 実習				
担当教員	境 亮典 (CO-DE GREEN デザイナー)				
科目区分	森林環境		人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	2年		授業形態	実習	
開講時期	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	単位数
授業時間数	15		コマ		(30 単位時間)
実務経験のある教員による授業科目	○		左の実務経験の内容	造園デザイナー(経営者)	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	-		左の実務経験の内容	-	
実務経験を活かした授業内容	自らデザインした庭園のコンセプトの解説等を交え、空間の活かし方や造園資材の選定等を学びながら、身近な緑化空間の計画、設計に取り組む。				

目的	造園学講義で得た知識を基に、実際の緑化空間(現場)に足を運び視察。より具体的、身近に緑化空間を計画・設計する。また事前の調査、計画の重要性と手法を修得する。				
概要	現況把握から問題や要望の抽出、最適な基本計画の立案という一連の流れを経て、実際に身近な空間の設計を行う。この一連の流れと、プレゼンテーションによる説明・訴求能力の必要性を学ぶ。また造園資材としての木材を取り巻く現況にも触れながら、造園分野での利活用についても学ぶ。				
キーワード	現況把握 問題抽出 造園計画・提案 デザイン 緑化空間 プレゼンテーション				
関連する科目	造園学 樹木学 樹木学実習 森林計画				
到達目標	○ 森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得				
	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得				
	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得				
評価方法	計画・設計図面の内容評価60% 成果物のプレゼンテーション手法、能力評価40%				

授業計画	テーマ	講義内容
1~2	近年の造園(個人庭園)のスタイル	前半の造園学を振り返り、共通する部分のピックアップ。前半の流れを受けて後半の実習をより成果のあるものへと導く概要。木材の導入状況。
3~6	現地視察	施工済庭園の現地視察。 造園に使われる素材や施設、構造物、植栽など実際の現場を計測し、現場から立面図を作成し、施主の要望や問題点に対する対応策を検討。
7~9	調査・現況把握・基本計画	現況把握～問題・要望抽出 手法を学ぶ 基本計画(コンセプト立案) 計画の重要性を学ぶ
	プランニング	前回までの成果物の確認、アドバイス プラン検討・資料収集・整理・ラフスケッチ
10~13	製図・資料作成	前回までの成果物の確認、アドバイス プレゼンテーション資料の準備
14~15	成果物発表会	プレゼンテーション 及び 講評

テキスト	講師作成資料
参考書	ランドスケープデザイン(昭和堂) 造園図面の表現と描法(誠文堂新光社) 造園詳細図集(オーム社)
関連する資格	森林情報士2級、樹木医補

備考	
----	--